(財)財務会計基準機構会員

平成２０年３月期　第１四半期財務・業績の概況（非連結）

平成１９年８月１０日

会　社　名　株式会社　佐賀共栄銀行
コード番号　０５８３　　ＵＲＬ　http://www.kyogin.co.jp/
代表者名　取締役頭取　山本　孝之
問合せ先責任者　取締役総合企画部長　石橋　功治　　ＴＥＬ　(0952) 26－2161

１．平成２０年３月期 第１四半期の業績（平成１９年４月１日～平成１９年６月３０日）

（１）経営成績

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年３月期第１四半期	1,730	(11.9)	59	(△ 34.4)	31	(△ 39.2)
19年３月期第１四半期	1,546	(-)	90	(-)	51	(-)
(参考)19年３月期	6,932	(△ 5.2)	994	(△ 4.1)	371	(△ 36.8)

	１株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年３月期第１四半期	1	72	-	-
19年３月期第１四半期	2	80	-	-
(参考)19年３月期	20	30	-	-

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年３月期第１四半期	253,892	10,698	4.2	584	87
19年３月期第１四半期	244,807	10,415	4.3	568	98
(参考)19年３月期	243,039	11,122	4.6	608	04

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除した比率であり、「銀行法第14条の2の規定に基づき銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づいて算出される自己資本比率ではありません。

２．配当の状況

	１株当たり配当金	
（基準日）	第１四半期末	
	円	銭
19年３月期第１四半期	-	-
20年３月期第１四半期	-	-

３．平成２０年３月期の業績予想（平成１９年４月１日～平成２０年３月３１日）

平成１９年５月１５日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

４．その他

（１）会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　有
（２）最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無　：　無

［（注）詳細は２ページ【定性的情報･財務諸表等】３．その他をご覧ください。］

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成しておりますが、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

１．経営成績に関する定性的情報

当行は、平成17年４月に第七次中期経営計画を策定し、この４年間を当行の長期ビジョン「地域に信頼感と存在感のある銀行」の達成に必要な改革を成し遂げるための期間と位置付け、当初２年間(平成17年４月～19年３月)を「改革断行」の１st.Stage 、続く２年間(平成19年４月～21年３月)を「完成期」の２nd.Stageとし、２段階での達成を目指しています。

当第１四半期の経営成績は、経常収益17億30百万円(前年同四半期比１億84百万円増加)、経常利益59百万円(同31百万円減少)、四半期純利益31百万円(同20百万円減少)となりました。

２．財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末の財政状態については、総資産2,538億92百万円(前年同四半期末比90億85百万円増加)、純資産106億98百万円(同２億83百万円増加)となりました。また、主要勘定残高としては、預金2,388億29百万円(前年同四半期末比74億80百万円増加)、貸出金1,749億88百万円(同46億17百万円減少)となりました。

３．その他

（1）会計処理の方法における簡便な方法の採用

①　貸倒引当金の計上

貸倒引当金については、平成19年６月末時点の債務者区分に基づく対象残高に対し、平成19年９月期予想引当率を適用して算出しております。

②　税金費用の算出

税金費用については、簡便的に法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しており、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」の合計相当額を「税金費用」として四半期損益計算書に表示しております。

（2）最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当四半期から変更した重要な会計方針はありません。

（3）連結及び持分法の適用範囲の異動

当行の連結子会社であった株式会社きょうぎんビジネスサービスが、平成１８年６月末に清算結了したため、連結の対象となる子会社はなくなりました。

４．(要約)四半期財務諸表

(1) (要約)四半期貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	前年同四半期末 平成19年3月期 第１四半期末 （A）	当四半期末 平成20年3月期 第１四半期末 （B）	増　減 （B）－（A）	(参考)前期末 (平成19年３月期末) （C）	増　減 （B）－（C）
（資産の部）					
現金預け金	11,349	7,152	△ 4,197	8,338	△ 1,186
コールローン	-	4,000	4,000	-	4,000
商品有価証券	36	36	0	37	△ 1
有価証券	49,544	64,117	14,573	56,999	7,118
貸出金	179,605	174,988	△ 4,617	174,156	832
その他資産	825	815	△ 10	673	142
有形固定資産	4,765	4,658	△ 107	4,642	16
無形固定資産	89	108	19	109	△ 1
繰延税金資産	3,010	2,500	△ 510	2,300	200
支払承諾見返	951	822	△ 129	888	△ 66
貸倒引当金	△ 5,372	△ 5,308	64	△ 5,106	△ 202
資産の部合計	244,807	253,892	9,085	243,039	10,853
（負債の部）					
預金	231,349	238,829	7,480	227,884	10,945
社債	-	1,000	1,000	1,000	-
その他負債	758	1,089	331	698	391
役員賞与引当金	-	-	-	8	△ 8
退職給付引当金	521	545	24	539	6
役員退職慰労引当金	-	128	128	118	10
再評価に係る繰延税金負債	810	779	△ 31	779	-
支払承諾	951	822	△ 129	888	△ 66
負債の部合計	234,391	243,194	8,803	231,916	11,278
（純資産の部）					
資本金	2,100	2,100	-	2,100	-
資本剰余金	679	679	-	679	-
利益剰余金	7,435	7,730	295	7,754	△ 24
自己株式	△ 24	△ 30	△ 6	△ 29	△ 1
（株主資本合計）	10,190	10,479	289	10,503	△ 24
その他有価証券評価差額金	△ 751	△ 714	37	△ 313	△ 401
土地再評価差額金	975	933	△ 42	933	-
（評価・換算差額等合計）	224	218	△ 6	619	△ 401
純資産の部合計	10,415	10,698	283	11,122	△ 424
負債及び純資産の部合計	244,807	253,892	9,085	243,039	10,853

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2.記載金額は、中間決算に準じた処理を行い算定したものでありますが、一部の決算処理を簡便化して算定しております。

(2) (要約)四半期損益計算書

（単位：百万円）

科　目	前年同四半期末 平成19年3月期 第１四半期末 （A）	当四半期末 平成20年3月期 第１四半期末 （B）	増　減 （B）－（A）	(参考)前期末 (平成19年３月期末)
経常収益	1,546	1,730	184	6,932
資金運用収益	1,386	1,445	59	5,600
（うち貸出金利息）	（ 1,236 ）	（ 1,230 ）	（ △ 6 ）	（ 4,958 ）
（うち有価証券利息配当金）	（ 150 ）	（ 205 ）	（ 55 ）	（ 634 ）
役務取引等収益	139	161	22	670
その他業務収益	5	27	22	51
その他経常収益	14	96	82	609
経常費用	1,455	1,671	216	5,937
資金調達費用	34	205	171	306
（うち預金利息）	（ 34 ）	（ 196 ）	（ 162 ）	（ 301 ）
役務取引等費用	170	155	△ 15	629
その他業務費用	63	7	△ 56	91
営業経費	1,068	1,098	30	4,260
その他経常費用	118	205	87	649
経常利益	90	59	△ 31	994
特別利益	-	-	-	-
特別損失	0	1	1	154
税金等調整前四半期(当期)純利益	90	58	△ 32	839
法人税、住民税及び事業税	-	-	-	12
法人税等調整額	-	-	-	455
税金費用	38	26	△ 12	-
少数株主利益	-	-	-	-
四半期（当期）純利益	51	31	△ 20	371

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2.記載金額は、中間決算に準じた処理を行い算定したものでありますが、一部の決算処理を簡便化して算定しております。

(3) (要約)四半期株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
				別途積立金	繰越利益剰余金	
平成19年3月31日残高	2,100	679	574	6,763	415	7,754
当四半期中の変動額						
利益準備金の積立			11		△ 11	-
別途積立金の積立				283	△ 283	-
剰余金の配当					△ 54	△ 54
四半期純利益					31	31
自己株式の取得						-
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額（純額）						-
当四半期中の変動額合計	-	-	11	283	△ 317	△ 23
平成19年6月30日残高	2,100	679	585	7,046	98	7,730

（単位：百万円）

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株主	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	△ 29	10,503	△ 313	933	619	11,122
当四半期中の変動額						
利益準備金の積立						-
別途積立金の積立						-
剰余金の配当		△ 54				△ 54
四半期純利益		31				31
自己株式の取得	△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額（純額）			△ 400		△ 400	△ 400
当四半期中の変動額合計	△ 0	△ 23	△ 400	-	△ 400	△ 424
平成19年6月30日残高	△ 30	10,479	△ 714	933	218	10,698

(4) セグメント情報

［事業の種類別セグメント情報］

銀行業以外の事業を営んでおらず、単一セグメントのため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

［所在地別セグメント情報］

在外連結子会社及び在外支店等がないため、該当事項はありません。

［国際業務経常収益］

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

平成２０年３月期　第１四半期財務・業績の概況説明資料

１．平成２０年３月期　第１四半期の業績

（単位：百万円）

	平成20年3月期 第1四半期 （３カ月間） （A）	平成19年3月期 第1四半期 （３カ月間） （B）	前年同期比 （A-B）	（参考） 平成19年3月期
経常収益	1,730	1,546	184	6,932
業務粗利益	1,266	1,264	2	5,295
資金利益	1,240	1,351	△ 111	5,294
役務取引等利益	5	△ 30	35	41
その他業務利益	20	△ 57	77	△ 40
経費（除く臨時処理分）	1,073	1,013	60	4,126
実質業務純益（一般貸倒繰入前）	192	250	△ 58	1,168
除く国債等債券損益	172	307	△ 135	1,182
①一般貸倒引当金繰入	△ 191	27	△ 218	△ 293
業務純益	383	222	161	1,461
うち国債等債券損益	20	△ 57	77	△ 13
臨時損益	△ 324	△ 131	△ 193	△ 466
②不良債権処理額	393	84	309	726
株式関係損益	89	4	85	271
経常利益	59	90	△ 31	994
四半期（当期）純利益	31	51	△ 20	371
①＋②総与信費用	201	111	90	433

（注）1.記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2.上記の数値は監査法人による監査を受けておりません。

２.「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」

(単位：百万円)　(参考)　(単位：百万円)

	平成19年６月末	平成18年６月末	平成19年３月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	３,９５２	４,１０８	３,４４４
危険債権	６,２２３	５,７２６	６,４０２
要管理債権	２,２９５	２,４３３	２,２６８
合計	１２,４７１	１２,２６８	１２,１１５
正常債権	１６３,５９９	１６８,５５０	１６３,１００
総計	１７６,０７１	１８０,８１９	１７５,２１６
不良債権比率	７.０８	６.７８	６.９１

（注）上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権の開示区分により分類し、以下の方法により算出しております。

１．上記の平成 19 年６月末の開示区分の金額は、同６月末時点での当行の定める信用格付基準並びに自己査定基準に基づく各残高を記載しております。

２．債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権（「実質破綻先」及び「破綻先」の債権）

危険債権（「破綻懸念先」の債権）

要管理債権（「要注意先」のうち、元本または利息の支払が３ヵ月以上延滞しているか、又は「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金）

３．自己資本比率（国内基準）

(参考)

	平成19年９月末(予想値)	平成19年３月末（実績）
自己資本比率	９.３%程度	９.４９%
ＴｉｅｒＩ比率	７.４%程度	７.６２%

（注）上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

４．時価のある有価証券の評価差額

○　評価差額

(単位：百万円)　(参考)　(単位：百万円)

		平成19年６月末				平成18年６月末				平成19年３月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
				うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券		59,736	△1,197	351	1,548	45,183	△1,258	401	1,659	52,619	△595	477	1,073
	株　式	2,445	△116	243	360	2,528	△52	380	433	2,552	37	307	269
	債　券	50,748	△830	15	846	36,316	△814	15	829	43,633	△430	95	526
	その他	6,542	△249	91	340	6,338	△391	5	396	6,433	△203	74	277

（注）１．「評価差額」および「含み損益」は、帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

２．平成18年６月より時価については、その他有価証券の株式は（四半）期末前１ヵ月の市場価格の平均に、それ以外については（四半）期末日の市場価格等に基づいて算出しております。

３．なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)　(参考)　(単位：百万円)

	平成19年６月末				平成18年６月末				平成19年３月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	4,201	△305	13	319	4,197	△250	27	277	4,200	△241	26	268

５．デリバティブ取引

(1) 金利関連取引

該当ありません。

(2) 通貨関連取引

該当ありません。

(3) 株式関連取引

契約額等の当四半期末残高はありません。

(4) 債券関連取引

契約額等の当四半期末残高はありません。

(5) 商品関連取引

該当ありません。

(6) その他

該当ありません。

６．預金・貸出金の残高

(単位：百万円)　　(参考)　(単位：百万円)

	平成19年６月末	平成18年６月末	平成19年３月末(実績)
預　　金（末残）	２３８,８２９	２３１,３４９	２２７,８８４
貸　出　金（末残）	１７４,９８８	１７９,６０５	１７４,１５６

以　　上